

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名

消防団加入促進事業

自治体名

福岡県

消防団名

—

1 事業の目的・必要性

本県の消防団員数は減少傾向にあり、消防団員の年齢構成は20代、30代が減少する一方、40代、50代が増加しており、団員の高齢化が少しずつ進んでいる。また、本県消防団員に占める被雇用者団員の割合は、全国同様7割を超えており、被雇用者団員が消防団活動を安心して行うことができるような職場環境の整備、被雇用者に対する加入促進を進めていくためには、消防団に対する事業所の理解が必要である。

2 事業内容

① 学生消防防災サークル支援事業

ア) 消防防災サークル支援（2サークル設立）

- ・4月から県内大学等を訪問し、サークル所管の学生課を通じて学生に事業の周知を行うことで、立ち上げを呼びかけ、学生を募る。
- ・呼びかけ実施後（7月頃から）学生を対象に学生消防団員や同世代の消防団員から消防団活動内容を説明するとともに、消防学校や消防本部の施設を活用して放水体験など消防団活動体験や消防防災を身近に感じることができる説明会等を実施する。
- ・認定サークルに対して、活動に必要なビブスや腕章など資機材の無償貸付（20万円を上限）を行うことで消防防災サークルの立ち上げを支援する。

イ) サークル活動内容

- ・認定サークルの学生に対して、消防団知識の向上を目的とした消防団基礎研修会を実施する。（4月～2月頃）
- ・認定サークルの学生に地域消防団員との防火パトロール、地域防災訓練の参加、学園祭などでの消防団のPRを行う。（消防団の活動スケジュールに合わせて随時実施）
- ・年度末に認定サークルによる合同活動として、活動報告会を実施し、各サークルの活動を発表するとともに、次年度の活動を活発に行えるような意見交換会を実施する。

② 消防団協力事業所推進事業

県知事表彰の実施

- ・消防団活動に協力的な事業所や団員確保に貢献している事業所を消防出初式において表彰する。また、消防団協力事業所に働きかけ、従業員の消防団への加入を依頼する。

大学生参加の消防団入団体験会の様子（副団長による講演会と消化訓練の様子）



3 事業成果

【サークルへの加入の働きかけ】

新規サークル設立のために3大学にサークルへの加入の働きかけを行ったが、設立には至らなかった。

【意見交換会】

活動報告会について企画したが、学生との日程が合わず、全体での活動報告会は実施できなかった。そのため、サークルと調整し、個別に意見交換を行った。

【体験型説明会】

学生消防防災サークル設立のきっかけづくりや消防防災に関する知識・技術の向上の一環として以下のとおり体験型説明会を実施した。

日時：令和6年2月14日（水）14：00～16：00

場所：大牟田市消防本部

当日は、12名の学生が参加し消防団に関する基礎知識や活動を周知することができ、消防防災を身近に感じたという意見があった。

来年度は、消防本部、消防団との連携を強化し、消防防災サークル員のスキルアップ及び消防団への加入につなげていきたい。

【消防団協力事業所推進事業】

県知事表彰は、事業所に大変好評であった。これを機に県内協力事業所が増加していくよう、継続して行っていきたい。

事業所の個別訪問は実施できなかったが、事業者向けのチラシを印刷し、商工議所連合会等の経済団体を通じての配布、会員向けメールマガジンへの掲載等の協力を依頼することで、制度のさらなる周知を行うことができた。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
①体験型説明会	回数	2回	1回	
①消防団基礎研修会	回数	4回	0回	
②事業所訪問	事業所数	10事業所	0事業所	

5 その他参考情報